

(2023年10月に揖斐厚生病院から新築移転します)

岐阜県厚生農業協同組合連合会岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院

病院の概要

開設時期：昭和27年2月1日
 開設者：岐阜県厚生農業協同組合連合会
 院長名：西脇 伸二
 病床数：400床（一般急性期：293床、回復期：82床、緩和ケア：25床）
 標榜科：内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・血液内科・糖尿病・内分泌内科・リウマチ科・脳神経内科・緩和ケア内科・小児科・外科・緩和ケア外科・乳腺外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・婦人科・麻酔科・歯科・小児歯科・歯科口腔外科・放射線科・心療内科・精神科・リハビリテーション科
 医師数：31名
 指導医師数：25名
 外来患者数：364.1人/日※
 入院患者数：155.7人/日※
 所在地：揖斐郡大野町下磯293番地1
 URL：http://www.ibi.gfkosei.or.jp/
 ※令和4年度揖斐厚生病院実績



病院の特徴

揖斐北西部に位置する総合病院となります。診療圏は、西濃医療圏に属し、揖斐郡3町を中心として、近隣の神戸町、本巣市等を含めた広い地域を医療圏としています。急性期から慢性期まで幅広く医療を提供し、関連施設として、内視鏡センター、人工透析センター、健診センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を有し、地域完結型の医療を実現しています。

院長メッセージ



西脇伸二

西濃厚生病院は2023年10月に新築移転し、岐阜・西濃医療圏の基幹病院としてオープンしました。東海環状自動車道、大野神戸インター直東に位置する400床の総合病院です。急性期病床293床の他、回復期リハビリ病床、地域包括病床、緩和ケア病床を有し急性期のみならず回復期や終末期の医療も行っています。

新たに DMAT 隊を結成し災害時の医療に対応しており、救急医療にも力を入れ様々な急性期疾患を経験することが出来ます。がん診療においても最新の AI を用いた内視鏡診断装置をはじめ、PET-CT や放射線治療装置も整備し、がんの早期発見・診断から高度な治療、緩和医療まで包括的に行うことができます。病棟でも AI を積極的に導入し、スマートベッドやスマートフォンと電子カルテのリンクなどを行うことにより効率的に診療情報を共有できるシステムを構築しています。

一方、地域の開業医や山間部の診療所との連携が強く、医師派遣や人事交流も行いながら地域完結型の医療を行っています。研修中には山間部の診療所での診療も体験していただき、地域医療の大切さを実感できると思います。揖斐厚生病院時代と同様に小回りの良く家庭的な雰囲気も維持しており、初期研修として人情味のある医師を育成していきたいと考えています。

このように初期研修期間中に様々な医療を経験することが出来ますので、将来自分の専攻する診療科を考える絶好の機会となります。ぜひ病院見学にも足を運んでいただき、職場の雰囲気などを体験してください。

指導医メッセージ

教育とは、あらゆる知識はすでに内在していることを気づかせることである、との考えがあります。研修期間で患者さんの気持ちに寄り添いチーム医療を実践しつつ、マニュアル通りではない臨機応変力を養っていただきたいです。新病院となり、令和6年度より、臨床研修医の枠が4人に増えます。新人のひたむきに患者さんや仕事に向き合う姿にはいつも心にとくるところです。1人1人の個性に合わせた指導ができればいいなあ、と思っています。

かつて私が揖斐病院に赴任の際、当時の日江井院長先生はこう言われました。「ここではしたいことは何をしてもいい。なんでも出来る。しかし何もやらなければそれで済んでいく」と。この精神は今も残っていると感じています。 文責 外科 熊澤伊和生

研修医コメント

当院での初期研修は、各自の目標やペースに合わせてスケジュールを組むことができます。興味のある分野を中心に様々な症例をマンツーマンでの丁寧な指導を受けながら経験することができます。また、新病院となり研修医にとっても大変充実した環境となりました。当院に興味を持たれた方は、是非気軽に病院見学にいらして下さい。

西濃厚生病院の特色は、病院全体の雰囲気が温かいことです。医師や多職種のスタッフと和気あいあいとしながら、家庭的な雰囲気です。研修を行っています。わからないことがあれば、指導医だけでなく、薬剤師や看護師など他のスタッフが温かく教えて下さいます。また、科の垣根が低いため、ローテ中の科に縛られることなく、他科の検査や処置に入ることができることも特徴です。

初診で診察した患者の担当医となり、指導医と共に治療プランを考えます。初診の診察やICを行うなかで、医療面接の力が身に付いてくるのを実感します。地域医療に携わりたい方は、是非新しい施設となった当院での研修を考えてみませんか。

研修再開を希望される皆さんへ

当院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当院へお問い合わせください。

研修スケジュール

チーム医療の一員として医師の役割を認識する。疾病を診るのではなく、患者の心情・背景など踏まえた一人の人間としての優しさ・思いやりのある医師の育成を目指す。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
揖斐厚生病院 初期臨床研修 プログラム	1年次	内科〔26週〕 うち一般外来研修〔2週〕				救急〔12週〕			外科〔5週〕 うち一般外来〔1週〕	小児科〔5週〕 うち一般外来研修〔1週〕	緩和科〔4週〕	
	2年次	精神科〔4週〕	地域医療〔4週〕	必須分野または選択科								

臨床研修協力病院・協力施設

○協力病院
 岐阜大学医学部附属病院
 社会医療法人緑峰会 養南病院
 JA 岐阜厚生連 中濃厚生病院

○協力型施設
 岩砂病院・岩砂マタニティー
 揖斐郡北西部地域医療センター
 岐阜ハートセンター
 JA 岐阜厚生連 飛騨医療センター 久美愛厚生病院

JA 岐阜厚生連 東濃中部医療センター 東濃厚生病院
 JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 岐阜北厚生病院
 JA 岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 西美濃厚生病院

研修プログラムの目標

医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けること。

研修プログラムの特徴

当院の最大の特徴は、各診療科を超えて医師同士の横の連携が大変密に行えるところにあります。この特徴を活かし、少人数の研修医を各科の研修中であっても他科の貴重な症例を見学ではなく体験させることにより、小回りのきく、きめ細かな研修が可能なプログラム構成となっています。また、選択期間を長く設定することにより、将来の診療科の決定に向けた自分に合ったプログラムを組むことが可能であり、一人の医師として専門医に走りすぎることなく、病院全体のスタッフとしての役割の重要性・協調性を体験し、総合的な病態を把握する習慣を身に付けることを主眼に置いています。

募集要項

応募資格：令和7年3月医師免許を取得する見込みである者
 医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：4名
 身分：常勤嘱託医師
 給与：与：年収680～750万円程度（基本給・賞与・諸手当を含む。）
 住居等：住居手当支給
 保険等：健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険

連絡先

連絡先：西濃厚生病院 企画総務課
 t e l : 0585-36-1110
 f a x : 0585-36-3100
 E - m a i l : ibihp@gfkosei.or.jp

交通案内

